



【見川中学校区小中一貫教育 教育目標】

将来をたくましく生き抜く力をもつ児童生徒を育む

夢と志をもち、可能性に挑戦する力



新学習指導要領

本県の教育目標

いばらき教育プラン

活力があり、県民が日本一幸せな県  
茨城県の未来をつくる「人財」を育  
て、日本一子供を産み育てやすい県  
を目指す。

学校教育指導方針

すべての子どもの可能性を引き出す  
活力ある学校づくり

本校の教育目標

校訓に基づき、「正しく」、「強く」、「美しく」  
生きることのできる生徒を育成する

団 結

— 共によくなるために —

水戸市の教育目標

知性にとみ、心身ともに健  
全な風格をそなえた人間  
(水戸人)の形成につとめる

□水戸市教育施策大綱

・規律と協働を高める八策

□水戸スタイルの教育

・チャレンジプラン

・グローバルプラン

・キャリアプラン

・ふれあいプラン

見川中学校学校運営協議会

目指す生徒像

- 正しい判断のできる生徒
- 心身ともに健康で丈夫な生徒
- 人の気持ちが分かる生徒

目指す学校像

- 学ぶ喜びが実践できる学校
- 礼儀正しく、笑顔あふれる学校
- 環境が整った美しい学校

目指す教師像

- 指導力と信頼のある教師
- 優しさと厳しさをもった、人間  
性豊かな教師
- 主体的に行動できる教師

経 営 方 針 ◆ 生徒・教職員がともに主体的に生き生きと活動し、達成感のある学校づくりをする。

指 導 の 重 点

1 生徒が主役

教育活動のなかで、生徒が主体的  
に活動できる場面を意図的に作り  
出す。

2 凡事徹底

基本的生活習慣と、思いやり  
のある人間関係の確立。

3 家庭・地域社会との連携

学校からの情報発信と、ジュ  
ニアリーダーズを通じた地域と  
の交流の推進。

4 教職員の資質能力の向上

業務の適正化による研修時間  
の確保と、ミニ研修による教員  
の資質向上。

本年度の組織目標 共によくなるために団結（ ）する。

努力事項及び具体的な施策

1 組織目標の具現化

- ・お互いを思いやり、協働性を高  
める道徳教育の推進。
- ・人事評価面談を通じた組織目  
標の具現化の確認。
- ・協働性を高める活動を取り入  
れた授業展開の工夫。
- ・特別活動や学校行事を通じた  
団結できる場面の設定と、取  
り組みへの賞賛。

2 授業の改善

- ・話を聞く姿勢の重要性の指導  
と、板書構成の構造化。
- ・学習課題解決に向けて主体的  
に取り組む授業構成の工夫。
- ・小学校からの接続を意識した  
タブレットPCの活用。(振り  
返しへの活用を目指す。)
- ・家庭学習習慣の定着。

3 共によくなるために

- ・生活の決まりの意義を考え、守  
ること改善に向けて検討する  
ことを意識させる。
- ・あいさつの意義を理解させ、あ  
いさつのできる生徒を増やす。
- ・運動への積極的取り組みと、け  
がの未然防止、交通安全への実  
践力を養う。
- ・集会・便り・道徳等で、相手の  
気持ちを思いやり、いじめが拡  
大しない集団を形成する。
- ・協働の意識を高め、称賛と励ま  
しを行い、集団の中に支持的風  
土を作る。

4 教職員の育成

- ・学年主任を中心とした、OJT  
による若手教員の育成
- ・研究主任、ICT 主任を中心と  
した教科横断的な授業改善の  
提案
- ・得意分野を生かした10分程  
度の研修の実施

5 地域とのかかわりを大切にする。

- ・来校者や要望に対して迅速丁寧  
な対応をする。
- ・ジュニアリーダーズを始めと  
して、地域での生徒の活動を  
積極的に推進する。
- ・学校運営協議会・青少年育成会  
とのかかわりを密にする。

6 働き方改革と服務規律  
の確保

- ・行事の精選と短時間で感動のある  
計画運営の工夫
- ・平日週2日部活動休養日を設  
定し、計画的に会議を設定す  
る。
- ・気兼ねなく退勤できる、声掛け  
と風通しの良い職場づくり。
- ・職員会議を中心に服務規律の  
確認を行う。
- ・One IBARAKI を活用した  
研修の実施
- ・コンプライアンス推進委員に  
よる研修の実施。